

先人達の英知と情熱で受け継がれた『神楽』。舞手の鼓動や息づかいが伝わってくる神代の世界に触れる。



大分県豊後大野市

2025年度公演

神楽会館

K A G U R A K A I K A N

入場料 一般:1,000円 中学生以下:500円
(当日はともに500円増)

※チケットは事前予約もしくは当日販売で受付致します。
お問い合わせは神楽会館まで

御嶽神楽
おんだけかくら

片島里神楽
かたしまさとかくら

浅草流大木神楽
あさくさりゅうおおきかくら

豊勇會
ほうゆうかい

御嶽流吉田俣楽座
おんだけりゅうよしたけりくざ

浅草流細枝神楽
あさくさりゅうほそえだかくら

緒方三社神楽保存会
おがたさんしやかくらほぞんかい

板井迫神明社神楽座
いたいさくしんめいしやかくらざ

神楽会館
神楽公演 協賛／ ぶんごおおのエネルギー

2025年 12月14日(日) 12:30～15:30

12月
(第199回)

一般公演

出演団体 緒方三社神楽保存会
片島里神楽

予約開始日 2025年10月14日(火)

2026年 1月18日(日) 12:00～15:30

1月
(第200回)

新年特別公演

出演団体 豊勇會
浅草流大木神楽
御嶽流吉田俣楽座

予約開始日 2025年11月18日(火)

2026年 2月15日(日) 12:00～16:00

2月
(第201回)

立春特別公演

出演団体 御嶽神楽

予約開始日 2025年12月15日(月)

前売り一般 1,500円
中学生以下 1,000円(当日500円増し)

2026年 3月15日(日) 12:30～15:30

3月
(第202回)

一般公演

出演団体 浅草流細枝神楽
板井迫神明社神楽座

予約開始日 2026年1月15日(木)



チケット販売場所 豊後大野市神楽会館

主 催／豊後大野市神楽会館 共 催／豊後大野市、豊後大野市教育委員会

後 援／NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・J・COM大分ケーブルテレコム・エフエム大分
大分合同新聞社・朝日新聞大分総局・読売新聞西部本社・毎日新聞社・シティ情報おいた

お問い合わせ／豊後大野市神楽会館 〒879-6903 豊後大野市清川町砂田810番地 TEL:0974-35-2372

神楽会館 検索 全席指定／288席(車いす席3席・介助者席3席)

神楽会館HP ホール内でのフラッシュ撮影及び、席を移動しての撮影は禁止といたします。



【交通アクセス】

■ JR豊肥本線利用の場合
大分～豊後清川駅…50分
豊後清川駅より…徒歩5分

■ 車利用の場合
大分から…50分
福岡から…3時間
大分空港から…2時間



一般公演

おがたさんしゃかぐらほぞんかい

緒方三社神楽保存会

緒方三社神楽保存会は緒方川越し祭りで名高い緒方一ノ宮社・二ノ宮社・三ノ宮社に所属する神楽座で昭和41年には県の無形民俗文化財に指定され、昭和52年には第1回大分県神楽大会において第1位を獲得するなど輝かしい経歴を持つ神楽座で、勇壮で激しく、御嶽流の中でもひととき重厚感のある舞を信条としている。

また、緒方神楽33演目をいち早く映像化し記録に努め、伝統を守ってだけでなく、先見性も高い神楽座である。

かたしまさとかがら

片島里神楽

片島里神楽は、庄内系浅草流の流派を継承しており、昭和22年に発足し、一時活動が途絶えたものの、地域の有志の熱意によって平成4年に再結成された神楽団体です。現在は20名が所属し、上は80代から下は小学生まで、世代を超えた幅広い仲間が一丸となって活動しています。地域に伝わる神楽の心と技を大切にしながら、伝統文化の継承と発展、青少年の健全育成、地域社会との交流を目的として日々研鑽を重ねています。主な活動は神社への奉納をはじめ、福祉施設への慰問や地域行事、文化イベントなどへの出演を通して、神楽の魅力と地域の絆を広く伝える活動を続けている。今後も地域に根ざし、次の世代へ伝統の灯を受け継いでいきます。



新年特別公演

ほうゆうかい

豊勇會

豊勇會は2003年夏、豊後大野市三重町の「らいでん祭り」発足を期に、株式会社豊肥環境センターの勇士20名にて結成された。

それ以来「地域社会への貢献・発展・創造」を柱に、年間を通じて地道な鍛錬を重ねている。秋から春までのオフシーズンには稽古の一環として、また冷めやらぬ熱い情熱のはけ口として「和太鼓」に挑戦し、「更なる“豊勇會らしさ”を探究」し続けている。

あさくさりゅうおおきかがら

浅草流大木神楽

大木神楽は、県内でも多く伝播している勇壮・活潑な浅草流の流れを汲む神楽座。江戸時代末期より伝承され、浅草流の中でもおはやしのテンポが速いのが特徴とされている。

明治8年には大分市中戸次に伝播されている。近年は若者の減少により大木地区だけでは伝承していくことが困難になりつつも、誇りと使命感を強く持ち伝統を守り続けている。

おんだけりゅうよしだりがくざ

御嶽流吉田俵楽座

吉田俵楽座は、大分県西部竹田市吉田の吉田八幡社所属の御嶽流の神楽座です。

吉田俵楽座の創始は未詳ですが、岡藩内に存在していた岡9座の一つであることから、江戸時代にはすでに成立していたと考えられます。

しかし、大正時代中期ごろから活動が一時途絶えていましたが、昭和23年地元の有志により復興し、現在まで伝承されています。地元の祭典以外にも年間多数のイベントに参加し、特に平成15年千葉県で行われた観光・物産展では、伝統芸能大賞を受賞するなど活躍しています。



立春特別公演

おんだけかがら

御嶽神楽

宝徳元年(1449)大友親隆公がこの地に御嶽神社を勧請した際に発祥したといわれる神楽。平成19年に国の重要無形民俗文化財に指定され、その調査研究事業により江戸時代後期に当時の神主加藤筑後守長古により現在ある形の大野系岩戸神楽の原形が創られたことがわかり、無形の民俗文化財として、学説的な裏打ちがなされ貴重な芸能となっている。一時はその存続さえも危ぶまれた時期もあったが、当時の清川村あげでの保存活動によって復活。御嶽流神楽大会、大分県総合文化センターでの単独公演、国際民俗芸能フェスティバルへの出演など活発に活動している。



一般公演

あさくさりゅうほそえだかがら

浅草流細枝神楽

白杵市野津町大字東谷字細枝の日吉神社に所属している浅草流の神楽座。旧大野郡俵楽会に所属しており現在も豊後大野俵楽会の一員として、地域に根ざした無形文化財の保存に努め、年間多くの奉納舞を行い日々精進している。

平成6年には細枝神楽ジュニアクラブを発足させ、神楽座の後継者を育成し、かつ神楽を通じた青少年の健全育成を行うなど、活躍している神楽座である。

いたいざこしんめいしゃかぐらざ

板井迫神明社神楽座

豊後大野市朝地町板井迫地区に伝わる深山神社を中心に発展した深山流岩戸神楽を継承する神楽座。朝地町には一時、深山八幡社、若宮八幡社、綿田俵積神社、板井迫神明社の4社に神楽座があり舞い伝えられていた。

しかし、過疎高齢化のため、各神楽座の独立した活動が難しくなり次々と休止に追い込まれたが、平成11年地区の有志により再興がこころみられ見事復活、勇壮・軽快で堅実に魅力があり、今では子ども神楽の指導も行なうなど活発な活動を行っている。